

一般社団法人 日本医療機器学会

2020年度第4回理事会 議事録

日 時：2021年3月26日（金）15:00～17:00

場 所：医科器械会館 2F セミナーホール（東京都文京区本郷3-39-15）

（会場・Web併用開催）

出席者：矢富 裕理事長、東 竜一郎副理事長、

青木 郁香、植竹 茂、臼杵 尚志、加藤 伸彦、加納 隆、川本 武、

小西 賢三、小林 直樹、酒井 順哉、住谷 昌彦、高階 雅紀、中島 章夫、

中野 壯陸、根本 裕司、林 正晃、深柄 和彦、福田 修一、

増田 順、松田 和久、松原 一郎、南 正人、安原 洋の各理事

本田 宏志監事

欠席者：平田 哲理事（委任状）、

玉井 久義監事

事務局：岩田 誠、寺嶋 秀之、桑原 祐子

定足数と出席理事の確認：定款第36条により理事25名の内過半数の24名が出席し、本理事会は有効に成立する旨の報告があった。（事務局）

1. 開会宣言、議事録の確認及び議事録署名人の指名

冒頭、理事長が慣例に従い、議長として開会（会場・Web併用会議）を宣した。

- 1) 本会の議事録署名人は定款第37条により理事長及び本日出席の本田監事である旨の報告があり、出席者全員異議なくこれを承認した。
- 2) 2020年度第3回（2020年12月15日開催）議事録の内容確認があり、出席者全員により確認された。

2. 委員会報告等

1) 総務委員会（東委員長）

(1) 同事業報告と事業計画（案）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

(2) 会員数の推移（入会者の承認・退会者の確認）

会員数の推移について報告があり、本日現在の会員数は、名誉会員9名、功勞会員0名、正会員6,155名、企業会員290社。前年同期比で正会員が238名、企業会員が7社減少した旨の報告があり、出席者はこれを承認した。

(3) 個人正会員の入会について（推薦者、個別承認分）

新規個人正会員11名の入会について報告があり、出席者はこれを承認した。

(4) 協賛・後援・共催依頼実績

協賛依頼3件、後援依頼2件、共催依頼無と報告され出席者はこれを追認した。

- (5) 褒賞制度・2020年度「功績賞」について
事務局より、今年度の功績賞は推薦・申請共に無と報告があり、出席者はこれを承認した。

2) 将来構想委員会（安原委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

3) 編集委員会（住谷委員長）

(1) 同事業報告と事業計画(案)

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

(2) 褒賞制度 2020年度「論文賞・著述賞」の選出の件

編集委員会より、論文賞は選考の結果以下候補が推薦され、議長より諮ったところ異議なく承認された。著述賞は該当者無し。

(論文賞)

著者：城屋敷 健志

表題：「自己血管内シャント機能評価を目的とした体導音センサの有効性の検証」(医機学 Vol. 90. No. 5(2020))

(3) 投稿規定の改定(追加)

投稿規定の追加改訂(英文論文投稿の際の英語校正の証明書添付)についての報告があった。英語を母国語とする著者から投稿があった際の英語校正証明書の有無について追加質問があり、「著者が英語を母国語とする投稿の場合は除く」と追記することとした。

(4) 医療機器学投稿状況

資料に基づき、医療機器学投稿状況について報告があった。

4) 学術委員会（安原委員長）

- 2021年度研究・開発助成制度募集結果と審査結果について

資料に基づき、今年度の助成申請2件の審査結果について以下の通り報告があり、出席者一同これを承認した。

〈申請者：吉澤光崇〉

研究テーマ：「医療機器衝撃検知システムの開発」

助成額：50万円

条件：研究成果を当学会大会で発表

〈申請者：石田 開〉

研究テーマ：「医療電磁環境評価への機器学習の応用」

助成額：33万円

条件：当学会大会での研究成果の発表と「医療機器学」への論文投稿

(1) 安全対策委員会（南委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

(2) クリニカルエンジニアリング委員会（加納委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

[臨床 ME 専門認定士合同認定委員会]（加納委員長）2020 年度臨床 ME 専門認定士(新規・更新)認定の件(承認)

資料に基づき、2020 年度臨床 ME 専門認定士新規申請者 37 名、更新申請者 4 名の合計 41 名が承認された。

(3) 機器と感染カンファレンス委員会（高階委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

(4) 病院サプライ研究会（深柄委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

(5) メンテナンスマニュアル出版委員会（上寺委員長代理 安原学術委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

5) 滅菌技士認定委員会（高階委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。2021 年 5 月 30 日(日)に滅菌技士認定制度 20 周年記念事業を大阪で実施する予定との報告がなされた。

6) 広報委員会（高階委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

7) 国際委員会（東委員長）

(1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。2021 年度 AAMI 年度大会(6 月開催)については、Web 形式による参加となるとの報告がなされた。

(2) 2021 年度 AAMI メンバーシップ登録 13 名の更新登録を行う旨説明あり、出席者はこれを承認した。

(3) 2021 年度 AAMI メンバー費用とスカラシップ基金拠出(合計\$3,782)について説明あり、出席者はこれを承認した。

[ISO/TC198 国内対策委員会]

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

8) 医療機器 UDI 標準化委員会（酒井委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料の基づき説明され、出席者はこれを承認した。「医療材料の物流合理化とトレーサビリティ管理に関する調査報告書」は、当学会ホームページの書籍資料の中で既に紹介されているが、当学会会員に広くその内容を周知するべく「医療機器学」への掲載について意見が出され、医

療機器 UDI 標準化委員会の中で検討する旨報告があった。

9) MDIC 認定委員会（白杵委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。コロナ禍により、今回初めて MDIC 検定試験を Web で実施、今年度の結果を踏まえ、来年度の検定試験を会場で行うか Web で行うかについて改めて検討する旨報告があった。

10) 事業体部会（根本部会長）

- (1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。第 95 回大会併設機器展示会は、コロナ禍で中止となったが、第 96 回大会併設機器展示会の準備状況については、大会長のお声掛けもあり、展示 61 社/119 小間が埋まり、また公開セミナーの充実を図る旨報告があった。
- (2) 2020 年度の受託展示料手数料収入は当初計画の約半分程度となる見込み。2021 年度見通しは 11 百万円を計画しているが、コロナ禍状況によっては、次年度も計画から下振れする可能性があるとの見方をしている旨報告があった。

11) 関係団体

- (1) (一財)日本医科器械資料保存協会(事務局) 特に無し
- (2) 日本医学会
 - ① 評議員 (担当 安原理事)
2021 年 2 月 26 日に日本医学会定例評議委員会が開催され、第 31 回日本医学会総会が 2023 年 4 月に開催予定であること、また、同年に日本医学会創立 120 周年記念事業が予定され、その準備活動について報告があった。
 - ② 連絡委員 (担当 南理事) 特に無し
 - ③ 用語委員 (担当 深柄理事) 特に無し
 - ④ 用語代委員 (担当 住谷理事) 特に無し
- (3) 日本臨床検査標準協議会 副会長 (矢富理事長) 特に無し
- (4) (公財)医療機器センター 理事 (矢富理事長) 特に無し

12) 財務委員会（植竹委員長）

- (1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。
- (2) 2020 年度の決算見込みについては、経常収益・経常費用ともに予算比で減少予定で、収益では第 95 回学会大会の展示中止、経常費用では各委員会の開催中止・延期等も見られるが、経常増減額では予算を上回る 6 百万円を見込む旨報告された。
- (3) 2021 年度の予算については、主に第 96 回大会の支出削減を見直し、管理費については今後の会員シテスムの予算を計上し、予備費としては前期を上回る 15 百万円を計上することが説明され、審議の結果、出席者一同これを承認した。

13) 利益相反委員会（安原委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。また、日本医学会の「COI 管理ガイドライン」の変更等に対応した当学会に適した

修正を必要に応じて行っていく旨報告がなされた。

14) 倫理委員会（平田委員長代理事務局）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

15) 滅菌管理業務検討委員会（深柄理事長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

3. 役員選挙結果（選挙管理委員会 東委員長）

2021・2022 年度役員選挙 選挙管理委員会(第 2 回)議事録より、S 系理事選挙の開票と結果については、以下の通り報告がなされた。

投票総数 106 通(有権者数 119 名、投票率 89%)

当選人（五十音順）

(S 系選挙理事 10 名)

臼杵 尚志、酒井 順哉、住谷 昌彦、高階 雅紀、中島 章夫、深柄 和彦、

松田 和久、南 正人、安原 洋、矢富 裕

(S 系推薦理事 4 名、役員選任細則第 2 条(2)に基づく)

加藤 伸彦、久保田 英雄、高橋 典彦、美代 賢吾

(C 系選挙理事 11 名、無投票当選)

青木 郁香、東 竜一郎、植竹 茂、川本 武、小西 賢三、小林 直樹、中野 壮陸、

根本 裕司、林 正晃、福田 修一、松原 一郎

(監事 2 名)

新 秀直、本田 宏志

今後のスケジュールとして、2021 年 5 月 27 日(木)開催の定時総会にて選出役員の選任を決議する予定、また、2021 年 8 月号(Vol. 91-4)の学会誌で新役員を公告する予定と報告された。

4. 今後の学会大会開催予定

1) 第 96 回大会(2021 年 5 月 27~5 月 29 日:大阪国際会議場) (高階大会長・事務局)

(1) プログラム準備状況

大会初日にマネジメントセミナーを 4 本準備し、特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション等 15 本準備している。

コロナの影響で一般演題発表も懸念していたが、2 日間 4 会場フルでプログラムを進める準備をしていると報告された。

(2) 大会収支予算(承認)

学術集会での参加人数を第 95 回大会の参加人数 2200 名を基礎に算出しランチョンセミナーは 9 社が参加、支出は学術収録後のオンデマンド配信費を計上した。展示については、61 社 116 小間とホスピタリティスペースで 2 社参加予定となっており、最終損益は、学術・展示合わせて 9.5 百万円程度の黒字を見込んでいる旨報告がなされ、出席者はこれを承認した。

2) 第 97 回大会(住谷大会長)

第 96 回大会の準備・運営状況を参考に進めていく旨報告がなされた。

3) 第 98 回大会(深柄大会長)

Web を考えつつも基本は対面での学会大会を予定して準備を進める予定と報告された。

5. 100周年記念事業 / 実行委員選出について (安原委員長)

2023年に当学会が100周年を迎えるにあたり、記念事業、記念式典、記念誌の発行他を計画しており、実行委員として以下17名が選出され、出席者一同これを承認した。

100周年記念事業実行委員会

委員長 安原 洋

(将来構想準備委員5名)

安原 洋、酒井 順哉、高階 雅紀、松田 和久、南 正人

(記念式典準備委員8名)

東 竜一郎、植竹 茂、川本 武、小西 賢三、根本 裕司、林 正晃、福田 修一、松原 一郎

(記念誌発行準備委員4名)

住谷 昌彦、内田 美保、小林 直樹、中島 章夫

6. 閉会宣言 (理事長)

その他の議題や質疑応答等がないことを確認し、議長が17時15分閉会宣言をした。

以上

(議事録署名)

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長及び出席監事1名がこれに署名する。

2021年3月26日

議事録署名人
(矢富 裕理事長)

議事録署名人
(本田 宏志監事)